

第8回 門真市少年軟式野球親善交流大会

大会規定

1.試合について

- (1) チームは、試合時間 30 分前までにグラウンドに到着し大会本部にその旨報告し、当日の打順表4部を提出すること。
- (2) 試合開始時刻にはすべての準備(打順表の確認・攻守の決定・その他注意事項)等が完了していること。また、選手 9 名及び監督又は代表者が揃わない場合は、棄権とみなす。
- (3) 打順表(メンバー表)には全員フルネームで記入しフリガナをつけること。
- (4) 試合予定時刻前でも前の試合が早く終了している場合は予定時刻を繰り上げて試合を開始することができる。
- (5) 打順表の控え選手欄には、当日出場予定選手の氏名、背番号も記入すること。なお、遅れてきた選手でメンバー表に記載されていれば、球審に告げる事により出場できる。
- (6) 監督、主将が試合の当日欠場した場合は、代理する者の氏名、背番号を当該審判員に通告し了解を得ておくこと。
- (7) ダッグアウト(ベンチ)組み合わせの若い方を 1 塁側とする。
- (8) 試合中ダッグアウトに入れる人員は、次のとおりとする。
 - ① 同一ユニホームを着用した選手(9 名以上 20 名以内)
 - ② 同一ユニホームを着用した監督・コーチ(30・29・28)の 3 名
 - ③ チーム責任者 1 名、マネージャー 1 名、スコアラー 1 名、トレーナー(有資格)1 名、給水補助員(女性)2 名の計 6 名以内、スポーティーな服装であること。ベンチに入る人すべてチーム同一の帽子着用のこと。
 - ④ グラウンド内での指導は、ユニホームを着用した監督・コーチに限る。
 - ⑤ 部員不足により単独チームでの参加ができない場合は、合同チームも認めることとするが、
 - (ア) 合同チームは部員不足チーム同士のチームでの出場であること(部員余剰チームから部員不足チームの補充合同チームは認めない)
 - (イ) 戦力不足による合同チームは認めない(発覚した場合は、棄権となる)
 - (ウ) 特別規定として所属チームユニフォーム一式の着用を認めるが、背番号の重複は認めない。
- (9) 試合途中降雨等で続行か中止するかは役員、審判員の判断で決定するものでチームの意見を申し出ることとはできない。
- (10) 雨天の場合でも日程の都合上、グラウンドが使用可能な場合は試合を行う。
- (11) 試合中雷が発生した場合は、状況を判断し、全員を安全な場所に避難させ气象台等の状況を掌握し、その後の処置を行う。
- (12) 試合当日降雨その他で、試合中止を決定するのは第一試合開始予定時刻2時間前とするが、万一連絡のつかない場合は現地集合を原則とする。
- (13) タイムの制限は、次のとおりとする。(1 試合、7 回戦)
守備側:監督またはコーチ等が投手の所へ行く場合
1 試合に 3 回以内、延長戦は 2 回に 1 回(持ち越しはできない)
捕手または野手が投手の所へ行く場合
1 試合に 3 回以内、延長戦は 2 回に 1 回(持ち越しはできない)
攻撃側:1 試合・・・3 回以内、延長戦・・・2 回に 1 回
注1. タイムを要求しないまま延長戦には入っても、持ち越しはできない。
注2. ただし、少し近づいて声をかけるものなどは含まないが、頻度や距離的なことは、審判員が常識的に判断する。

- (14) 抗議できる者は次のとおりとする。
監督または当該プレーヤーとする。
- (15) 学童部は、変化球を投げることを禁止(反則投球扱い)する。
- (16) 投球制限(少年・学童共通)
1日1人 7イニング ただし、延長直前を投げ切った投手に限り、1日9イニングを投げる
ことができる。(Cクラスは、5イニングとする。)
- (17) 学童Cクラスの試合は、塁間21m、投手板ホームベース間は、14mとする。

2. 用具について

- (1) 大会使用球は、ケンコーボールM・J号とし、全試合支給する。
- (2) 木製バット以外の金属・ハイコン(複合)バットは、JSBBのマーク付きの公認のものに限る。

3. 装具について(JSBB公認のものに限る。)

安全のため次の各項は必ず着用しなければならない。

- (1) 捕手用マスク (スロートガード付)
- (2) レガース (必ず両足に着用のこと)
- (3) プロテクター
- (4) ヘルメット (打者・走者・次打者・ベースコーチは同色・同型で両側に
イアーラップのついた公認のものを着用すること)
- (5) 捕手用ヘルメット(マスクとの一体製品は使用禁止とする。)
- (6) 捕手用のファウルカップ
- (7) 少年部については、ビヨンド系バットは使用禁止とする。(グラウンドが狭いため)

4. ユニホーム等

- (1) ユニホーム
- (2) 帽子
- (ア) ストッキング・ソックス
- (イ) アンダーシャツ
- (ウ) ベルト
- (エ) スパイク(スパイクの色は両足共同色
であれば自由)

(注)

全員同色・同型・同意匠のもの。
ただし、アンダーシャツの袖の有無し長短
は問わないが必ず着用すること、ノースリ
ーフは認められるが上着から出る部分の
は同一のこと Tシャツは認められず
あくまでアンダーシャツであること。
なお、上着から出ない部分の色は問題としない。

(オ) 背番号は、0番から99番までとする。

(カ) 監督は、30番、主将は、10番とする。コーチは、28・29番とする。

5. 試合成立と時間制について

- (1) 時間制限を採用する。[少年・学童A]1時間25分・7回戦とし、1時間25分を経過して次回に入らない。[学童Cクラス]65分で5回戦とする。なお後攻めチームが勝っており裏の攻撃中にタイムアップとなったときには第3アウト前でも試合を終了する。注1)
- (2) 同点の場合は、選手9名により抽選で勝敗を決する。
抽選は、赤印のついたくじを多く引いたチームが勝ちとする。
- (3) 得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差・5回以降7点差とする。
[学童Cクラス]は、得点差によるコールドゲームは採用しない。

- (4) 優勝戦は、次のとおりとする。
[少年・学童 A] 7 回戦 1 時間 40 分とする。ただし、延長は、時間内9回までとする。[学童 C クラス] 1 時間 20 分とする。
なお、[少年・学童 A]は特別延長戦(タイブレーク方式を採用する。回数は、2 回までとする。)
また、同点の場合は、抽選で勝敗を決する。
- (5) 降雨、日没による正式試合成立(コールドゲーム)は、5 回または 1 時間 25 分(優勝戦は、1 時間 40分)とする。
- (6) 正式試合になる前でも時間制限を採用する。
注 1) 残り時間 1 分を切った場合は、次のイニングには入らないこととする。

6. 試合中の禁止事項及び遵守事項

- (1) グランド内でのフリーバッティングは禁止とする。
 - (2) シートノックは原則として認めない。ただし、キャッチホール・トスバッティングは準備の邪魔にならないよう外野に限り認める。
 - (3) ダッグアウト、グラウンド内の[タバコ]及び[ガム]等は、指定する場所以外は一切禁止する。
 - (4) ダッグアウト内で携帯用マイクを使用することは禁止する。ただし、メガホンについては監督に限り使用を認める。また、ベンチ内では携帯電話の使用を禁止する。
 - (5) ストライク・ボール・アウト・セーフ・フェア・ファウル等のジャッジ判定に対し抗議はできない。また、緩い牽制球については遅延行為となる。
 - (6) 相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は、厳禁とする。また、スタンドでの自チーム側の応援の野次は、チームの責任とする。
[プレーヤーは、スポーツマンらしくマナーを大切にすべきである。それが相手チーム、運営側に対する礼儀でもある。]
 - (7) 場外に出たファールボールは攻撃側チームが、場内に関しては近い方のチームが拾いに行くこと。
 - (8) グランド内には、試合用具以外のものを持ち込まないこと、(素振り用鉄棒・バットリング等)
 - (9) 手袋は、投手以外認める。
 - (10) 投手は、手首にリストバンド、(サポーター等)を使用することは禁止する。
 - (11) タイムは、遅延行為とならないよう 1 分間を限度とする。ただし、審判員が認めた場合は、この限りでない。
 - (12) 特別グラウンドルールは、当該審判員より試合前説明する。
 - (13) 打者が頭部にヒットバイピッチを受けた場合には、球審は直ちに臨時代走の処置を行うことができる。
 - (14) 熱中症対策
イ、熱中症の疑いのある選手は、試合に出場できない。
ロ、攻撃が 20 分以上続いた場合は、給水タイム(約3分間)をとる。その間試合時間を停止する。
7. 試合前後にはグラウンド整備を手伝うこと。また、ダッグアウトを出るチームは、清掃してゴミは持ち帰ること。
 8. 競技(試合の前後を問わず)運営上、支障をきたす言動を起こした場合は、その当事者を競技場から除く。
 9. 競技場内で起こった傷害・賠償事故及び車等の事故については、一切その責任をもたない。大軟連行事保険を適用するが門真支部以外のチームは、傷害賠償責任保険に加入することが本大会の参加出場条件とする。
 10. 上記以外に関する事項については、最新の「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携」並びに「府少年軟野連要覧」の諸規定を準用する。

取 決 め 事 項

1. 試合当日が雨天の場合は、試合開始2時間前（それ以前は一切わかりません。）に決定します。
2. その他のお問い合わせは、連盟事務局まで問い合わせください。

事務局 〒571-0052 門真市月出町 13-11 川端 尚子

TEL 06-6904-2530

FAX 06-6904-2530

携帯電話 090-4647-5845 金菱

連盟ホームページ トーナメント日程のお知らせ他

<http://kadomasbb.com> (少年部をクリック)